

◆管内の概況

▼位置・気候

小樽開発建設部が管轄する後志は、北海道の南西部に位置し、北と西は日本海に面し、東は大都市札幌、南部は渡島半島に接しています。気候は、春から夏にかけて温暖で晴天の日が多く、過ごしやすい地域ですが、秋から冬にかけては北西の季節風の影響を受け、風雪が強く、特に羊蹄山麓は道内屈指の豪雪地帯です。

▼後志の『食』

管内の農業は、水稻、畑作物をはじめ、野菜、果樹、酪農など幅広い分野の生産が行われ、「北海道農業の縮図」と呼ばれるほど、農家の経営形態は多岐にわたっています。また、近年は醸造用ブドウの作付けが増加しており、令和5年2月現在24のワイナリーが開設されています。管内の漁業は、かつてはニシン、現在はナマコ、ウニ、ホッケ等の漁獲に支えられています。また、安定した資源の維持増大を図るため、サケをはじめとする種苗放流により作り育てる漁業の取組が進められています。

▼後志の『観光』

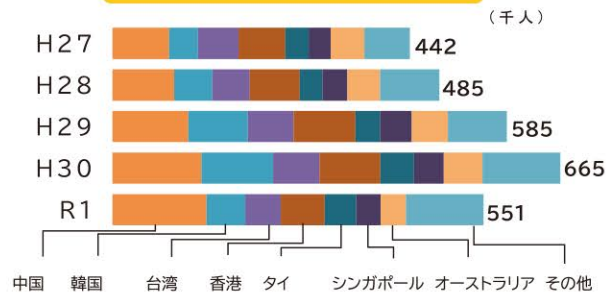
管内は、国内外から年間2,200万人余り(観光入込客数)の観光客が訪れる北海道を代表する観光地です。世界有数のスキーリゾート地であるニセコエリアを中心に、オーストラリアやアジア圏の観光客が多く訪れています。それに伴い、ニセコエリアには大手外資系ホテルの新規参入が続き、後志の世界的な観光地化への動きが活発になっています。

●後志の産業別就業者割合



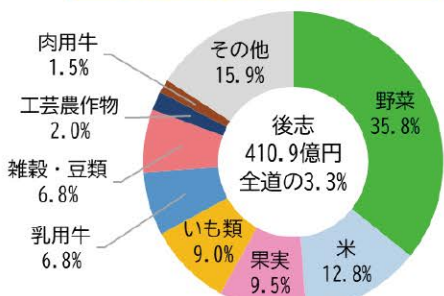
出典：令和2年度国勢調査(総務省統計局)

●後志の訪日宿泊人数



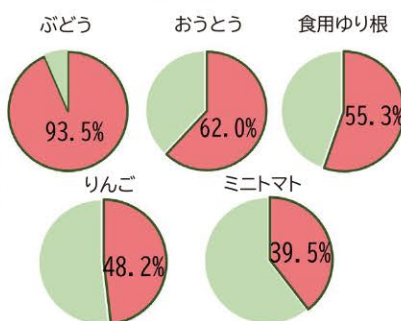
出典：令和2年度北海道観光入込客数調査報告書(北海道経済部)

●後志の農業産出額の内訳



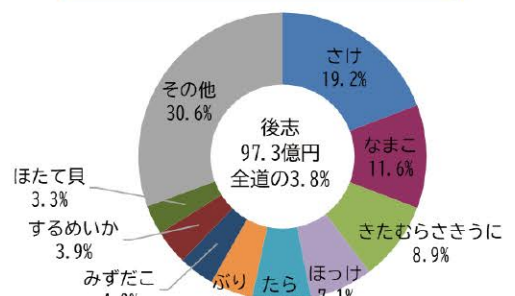
出典：令和元年度市町村別農業算出額(農林水産省)

作付け面積道内1位の農作物



出典：後志の農業2022

●後志の漁業生産高魚種別構成



出典：令和3年北海道水産現勢(北海道水産林務部)

「シーニックバイウェイ北海道」

- シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取組です。平成17年度から開始し、現在、14の指定ルートと3つの候補ルートがあり約500団体が活動しています。
- 管内は「支笏洞爺ニセコルート」の「ニセコ羊蹄エリア」に該当します。



ビューポイントパーキングから望む羊蹄山と尻別川(京極町更進)



詳しくは、「シーニックバイウェイ北海道」のホームページをご覧ください。

「北海道マリンビジョン21」

- 我が国の水産食糧供給基地としての北海道の役割を将来にわたり守り育てていくため、地域の資源を活かしつつ、多様な主体の連携・協働により活力ある北海道の水産業や漁村の目指す姿を定めた長期構想。
- 道内各地域では、北海道マリンビジョン21の実現に向けて、漁業者や住民、関係団体、行政等が協議会を組織し、水産業を核とした地域振興方策となる「地域マリンビジョン」に基づき、様々な取組を推進しています。



【積丹】ウニの陸上蓄養試験



詳しくは、「北海道マリンビジョン21」のホームページをご覧ください。

「わが村は美しく-北海道」運動

- 北海道の農山漁村地域と地域を支える農林水産業をもっと豊かにするため、平成13年に「わが村は美しく-北海道」運動を開始。
- 「景観」「地域特産物」「人の交流」の3つの要素から、北海道にあるたくさんの「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えていくため、コンクールを開催。

第10回コンクール大賞審査委員特別賞受賞 ベジタブルワークス株式会社(真狩村)



詳しくは、「わが村は美しく-北海道」運動のホームページをご覧ください。